



### ありがとうございました

- 麵場場所商店イオンモール八千代緑が丘店様から、一般寄附金として5万円の寄附をいただきました。
- 株式会社ワイズマート代表取締役社長吉野秀行様から、一般寄附金として20万円の寄附をいただきました。寄附の累計額が60万円となったため、市から同社に感謝状と記念品を贈呈しました。

### 第30回新春八千代市書道会展が開催されました

1月17日～19日に勝田台文化センターで市書道会、市教育委員会主催の第30回新春八千代市書道会展が開催され、多くの書の大作が展示されました。



▲貼りまぜなどさまざまな作品を展示

17日には県立八千代高等学校書道部による書道パフォーマンスが行われ、大きな作品が書き上げられました。書道部員より作品について「今回は八千代市書道会展が30回という記念の会を迎えるため、自分たちの好きな言葉や好きな歌の歌詞なども参考にしながら『おめでとう』の意味を込めたお祝いの言葉になるようにしました。また、大きい文字は、市書道会のこれからの発展をお祈りして『幸来(幸せが来るように)』という言葉にしました。」と説明。作品はステージ上に飾られ、多くの人を魅了しました。



▲音楽に合わせ思いを込めた渾身の一枚を書き上げました

### 石井食品様からカードゲームを寄贈いただきました

1月20日に寄贈式が行われ、石井食品様より食育をテーマとした「カードゲーム イシイのレシピ」48セットを寄贈いただきました。

これは、2～4人で遊べる具材カードを集めて、楽しく料理を作るカードゲームで、子どもたちが「食材を知る」「調理の手順を考える」「自分だけのメニューをつくる」という体験を、遊びながら学べるよう企画・開発されました。寄贈いただいたカードゲームは、市内の学童保育所24施設・48教室の子どもたちに届けられました。



▲石井食品(株)取締役 執行役員伊藤幸一郎氏(左)と服部市長(右)

### 地域に伝わる伝統行事「ツジギリ」

ワラの大蛇で一年の安全を祈る



▲ワラ蛇を作って約40年の立石さん

病気や災いの侵入を防ぐため、集落の道の境にワラ蛇や注連縄を掛ける「ツジギリ」という風習があります。市内で受け継がれている伝統行事で、下高野では1月31日にワラを使って蛇が作られました。トウガラシで目や舌をつけ杉や柗の葉、魔よけのお札を刺した2メートル前後のワラ蛇は、下高野の6箇所の境に供えられました。



▲下高野に供えられたワラ蛇

### ヤチヨ・ゼロカーボンGXセミナーが開催されました

1月22日、セントラルスポーツ生涯学習プラザで「ヤチヨ・ゼロカーボンGXセミナー」が開催され、資源循環・製造・食品関係の事業者など、地域の脱炭素やGX(グリーン・トランスフォーメーション)に関心のある45人が参加しました。

セミナーでは、東京大学先端科学技術研究センターの谷口信雄氏による基調講演「気候変動時代のGXと中小企業の脱炭素経営」のほか、主に事業者が参考にできる支援策紹介として、千葉エコ・エネルギー(株)の細山田直誠氏、千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター事務局による発表が行われ、地球温暖化に関する最新情報の共有が図られ見識が深まり、自然と交流が起こるなど参加者からも好評でした。本市の市域から出る温室効果ガス排出量の約5割を産業部門が占めていますが、今回のセミナーは産業部門における温室効果ガス削減の加速を目指すうえで大変有意義な機会となりました。



▲東京大学先端科学技術研究センターの谷口信雄氏

### ミニ・ガイド

■精神障害者家族 対話の集い 精神障害者を身内に持つ家族が、相談ごと、悩みごと、心配ごと等について話し合う「対話の集い」を開催します。2月26日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野北館。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊 圃 453-6760へ。

■書いて伝えよう!「要約筆記体験講習」参加者募集 中途失聴者や聞こえづらい人への情報提供手段の一つに「要約筆記」があります。外見ではわかりにくい、聞こえない、聞こえづらい人たちを取り巻く状況を理解し、その場の話や文字で伝える「要約筆記」を体験してみませんか。3月9日(月)・10日(火)午後1時30分～3時30分、福祉センター。100円。申し込みは3月2日(月)までに市身体障害者福祉会 圃 485-8822へ。

### リサイクル・ガイド

消費生活センター 圃 483-1151(代表)

●受け付けは、午前9時～正午、午後1時～5時(土曜・日曜日、祝日は休所)。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。  
【ゆずります・無料】プリンターインク IC69 / M・C・Y  
上記の他に、市役所1階ロビー掲示版・市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

### やちよ文芸コーナー

#### 短歌

鶴岡 美代子選

娘の愚痴に深くうなづく老の知恵百語に揺れつもひとつをほめる  
(村 上) 新井 豊子

島多きふるさと瀬戸の海の景テレビに見ればたまらず恋し  
(大和田新田) 諏訪 俊一

秋雨に金木犀は匂ひ立つ隠せぬ想ひ花とこぼして  
(八千代台西) 田崎 木実

空青く山のなだりを鮮やかに木木の織りなす紅葉目に染む  
(八千代台北) 木村 哲夫

父母よ落ちこむ吾をみかねたか今宵の夢にいでてくれたり  
(ゆりのき台) 大倉 和子

休み田をあわだち草が占めていて四方に雉子鳴く夕ぐれのあり  
(桑 納) 石上 文枝

年の瀬は行列長しデパ地下の活気に押され手ブラで帰る  
(八千代台北) 野原 隆志

石ころもココロも丸くなる浜辺光も風もゆりかごのよう  
(村 上) 井上 すす

選評 一首目、愚痴を聞いて貰える親がいるとは幸せだ。しは必ず褒めると言う。二首目、島の多いのが瀬戸内海の特徴で、景が見える様だ。「たまたま」の語には望郷の念と同時に自慢も感じられる。三首目、虚実双方が入った作品の例である。「虚」は内心の想いで、「実」は具体の秋雨の中の金木犀である。

#### 川柳

八千代川柳連盟選

この母を選びこの世のここにいる 大和田 阿部けいこ  
得意技生かすチャンスがやつと来た 大和田新田 平田 初音

キヤツシユレス空の財布は昼寝する 八千代台北 小川 剛毅

滑り止め付き靴下でまた転ぶ 八千代台東 平蔵 柗

子ら巣立ち夫婦迎えるダイヤ婚 勝田台 藤川 朝生

かろやかな破魔矢の鈴が心地いい 大和田新田 高橋 孝子

老いの身へ無理せぬようと諭される ゆりのき台 石田 らく

この地球平和であれと空を見る 村上団地 本田ようこ

#### 俳句

村上 喜代子選

柔和なる埴輪の眼冬に入る 米本団地 拝詞 妙子

黄昏や家路を急ぐ冬帽子 米本団地 唐澤 菊枝

退院や年末掃除待つ家へ勝 勝田 草野 純子

寒稽古力士の肩から湯気昇る 八千代台西 加田 和子

メールより手紙が好きよ冬ぬくし 勝田台南 勝田 和子

初汀うすもも色の潮満ち来 勝田台 勝田 和子

知床の海くろくろと冬の月 村上 勝田 和子

主逝き育てし冬の薔薇真白 勝田台北 勝田 和子

一 井上 昌文 修子